

论古代中国

1965—1980 年日文文献目录

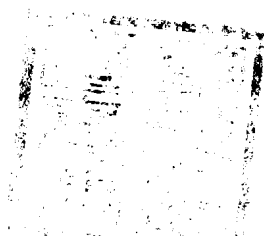
书目文献出版社



论 古 代 中 国

1965——1980年日文文献目录

周 迅 编



607-62

书目文献出版社

1983年

881803

论古代中国

1965—1980年日文文献目录

周 迅编

书目文献出版社出版

(北京文津街七号)

河北省南官县印刷厂印刷

新华书店北京发行所发行 各地新华书店经售

787×1092 1/16开本 36印张 550千字

1984年3月北京第1版 1984年3月北京第1次印刷

印数1——3000册 定价：6.00元

图书分类号：Z88：K207 统一书号：17201·40

前言

我国悠久的历史 and 灿烂的文化,是中华民族对世界文明的重大贡献,不仅是我国人民的宝贵遗产,也是全世界人民的共同财富。新中国建立以后,世界各国对于研究中国的历史与现状更加重视。尤其是和我们一海之隔的日本,自古以来就同中国有密切的文化上的联系,有研究中国的长期传统,拥有一支力量雄厚、训练有素的研究队伍,不断有新的成绩公布于世。

本目录汇集了1965至1980年期间日本出版和发表的论述古代中国的专著、论文一万多种(篇)。所谓“古代中国”,是按照我国史学界通行的历史分期,截至1840年鸦片战争为止。全部条目按内容分为古代中国综论、学术思想、宗教、政治和社会生活、经济、文化教育、语言文字、文学、艺术、自然科学和技术十个大类。仅就条目的数量,也可以看出日本学者研究中国的热情。尽管部分论题不免失之琐碎,但也颇不乏在多年研究基础上的力作。在典章制度、社会经济、宗教、文化及史料整理等许多方面,有不少值得注意的成果。

考虑到关于亚细亚生产方式的讨论与古代中国研究关系密切,将1965~1980年间日本有关亚细亚生产方式的论著列出要目,作为本目录的附录。此外,还附有这一时期日本影印出版我国史籍的要目。书后有本目录标题中出现的中国古代人物及其主要著作索引,以便于检索。

从六十年代中期到七十年代中期,是我们对国外学术动态比较隔膜时期。编辑这一目录的目的,一方面是为了给有关的研究工作者提供一批参考文献线索,另一方面也是希望通过这一目录,从一个角度描绘出这一时期日本学术界在古代中国研究领域中的大致面貌,比较完整地反映他们的成果、进展和趋向,供我国研究人员借鉴。愿这个目录能为促进中日两国研究人员的学术交流贡献一粟微薄的力量。

本目录的材料来源,是日本出版的各种目录、书评、学术动态介绍等。其中最主要的几种是:

《东洋学文献类目》、

《杂志纪事索引》、

《史学杂志》所刊的东洋史目录、

《出版年鉴》。

本目录的编者是北京图书馆文献研究室的工作人员,目录中所收的专著论文,尽可能与北京图书馆的馆藏作了核对,为了更便于利用起见,并在目录中注明了北京图书馆的收藏情况。但是,这一时期的国外出版物,图书馆缺藏甚多,许多书刊,编者都未能亲见,只能根据日本出版的各种书目、出版消息、书评、学术动态介绍等互相校核,并判断其大致内容,给编辑工作增加了不少困难。同时,目录涉及的方面较广,而编者的知识有限,因此,材料收录不全或不当,编排或著录错误,以至鲁鱼亥豕之讥,在所难免,只有留待识者指正了。

一九八三年七月

编 例

(一) 收录范围:

本目录收录1965-1980年在日本出版和发表的有关古代中国(1840年鸦片战争以前)的日文论文和专著。

由其他文种译成日文的不收。

(二) 编排原则:

本目录分为论文、专著两大部分,两部分各分类编排。每一类目下,尽可能将内容相近的相对集中,或者按历史发展的顺序排列(如典籍按成书时间先后、人物按生卒年先后等)。不能再细分的,按论著发表或出版时间的先后排列。

本目录收有书评600多篇,分别附于原著之后。

(三) 著录项目:

论文著录篇名、著者、所载期刊或论文集名称、卷期、页数、出版年月;专著著录书名、著者、出版者、出版年、页数或册数;书评著录著者、所载期刊名称、卷期、页数、出版年月。

凡北京图书馆入藏的专著均注明索书号。(为了节省篇幅起见,论文的入藏情况不用一一注明,只在附录中统一说明哪些论文集和期刊北京图书馆有收藏,期刊藏有何卷何期。可查阅附录三和附录四。)

(四) 几种符号的说明:

在著录项中使用了以下几种符号和标志:

—: 连接期刊的卷和期,如:史苑27-1,即史苑第27卷第1期。

~: 表示从第几卷(或期)到第几卷(或期),如:1~3卷,即第1卷至第3卷。

∴: 在论文部分表示连载;在专著部分表示不同版本;在书评项下分隔对同一论著的几篇书评。

又: 在论文部分,表示同一论文在不同刊物或论文集中再一次发表。

评: 表示书评。

本: 表示该书或刊北京图书馆有收藏。下面注明索书号或入藏的卷期。

(五) 附录的使用法,在有关附录的标题下另作说明。

目 录

论文部分

(一) 古代中国综论	1
(1) 通论	1
一、古代史综述	1
二、各代史	4
1. 先秦	4
2. 秦汉	7
3. 三国两晋南北朝	10
4. 隋唐五代	13
5. 宋辽金元	16
6. 明	19
7. 清	22
三、史籍研究	24
1. 尚书	24
2. 春秋、国语、战国策	25
3. 二十五史	29
4. 资治通鉴、通典	37
5. 其他史籍	37
四、史学史	40
(二) 考古与文物	41
一、综述	41
二、古遗址、古墓葬	42
三、石窟寺	44
四、石器、玉器	45
五、铜器、铁器	46
六、陶瓷	48
七、其他器物	53
八、古文字	54
1. 甲骨文	54
2. 金文	55
3. 碑刻	56
九、古文书	57
(三) 民族史志(附“客家”、“棚民”、“墮民”、“蛮民”)	62

一、综述	62
二、蒙古地区各民族	64
三、东北地区各民族	69
四、西北地区各民族	70
五、中南、西南地区各民族	71
六、西藏地区各民族	72
(4) 地方史志	73
一、综述	73
二、地理古籍研究	74
三、古地图	77
四、山脉、河流	78
五、都市	78
六、华北、东北地区史志	80
七、西北地区史志	81
八、华东地区史志	84
九、中南、西南地区史志	85
(5) 传记	87
一、综述	87
二、总传	88
三、传说人物	91
四、先秦人物传记	92
五、秦汉人物传记	95
六、三国两晋南北朝人物传记	97
七、隋唐五代人物传记	100
八、宋辽金元人物传记	104
九、明清人物传记	106
(二) 学术思想	109
(1) 通论	109
(2) 先秦思想	115
一、综述	115
二、儒家和“经学”	117
1. 一般论述	117
2. 易	119
3. 三礼	121
4. 大学、中庸	122

5. 孔子和论语	123
6. 孝经	131
7. 孟子	132
8. 荀子	134
三、道家	138
1. 一般论述	138
2. 老子	139
3. 列子	143
4. 莊子	143
四、墨家	145
五、名家	147
六、法家	148
七、阴阳家、杂家及其他	150
(3) 秦汉思想	151
(4) 三国两晋南北朝思想	158
(5) 隋唐五代思想	161
(6) 宋辽金元思想	162
(7) 明代思想	168
(8) 清代思想	173
(三) 宗教	177
(1) 通论	177
(2) 佛教	178
一、佛教史	178
1. 一般论述	178
2. 两晋南北朝佛教	183
3. 隋唐五代佛教	185
4. 宋辽金元佛教	187
5. 明清佛教	189
二、佛教各教派	190
1. 小乘、大乘	190
2. 三论宗、天台宗、律宗	190
3. 净土宗、华严宗	192
4. 禅宗	193
5. 密宗	196
6. 喇嘛教及其他	197
三、佛教典籍研究	197
1. 一般论述	197
2. 译经及其研究	199

3. 各代佛教典籍研究	202
4. 敦煌佛教典籍研究	205
四、佛教人物传记	209
(3) 道教	215
一、一般论述	215
二、道教典籍研究	218
三、道教人物传记	220
(4) 回教、祆教	222
(5) 基督教	222
(6) 秘密宗教结社	223
(7) 谶纬及迷信	224
(四) 政治、社会生活	228
(1) 政治制度	228
一、一般政治制度	228
二、职官	230
1. 一般论述	230
2. 先秦、秦汉官制	231
3. 三国两晋南北朝官制	232
4. 隋唐五代官制	234
5. 宋辽金元官制	236
6. 明清官制	239
三、地方行政	239
(2) 法制	242
一、综述	242
二、先秦至南北朝法制	244
三、隋唐五代法制	246
四、宋辽金元法制	247
五、明清法制	248
(3) 军事	250
一、综述	250
二、先秦至南北朝军事	251
三、隋唐五代军事	252
四、宋辽金元军事	252
五、明清军事	253
(4) 中外关系	255
一、综述	255
二、东亚国际关系	257
三、中日关系	258

四、中国和其他亚洲国家的关系	263
五、中国和欧美国家的关系	266
(5) 社会生活	266
一、综述	266
二、阶级、阶层	268
1. 一般论述	268
2. 先秦秦汉各阶级状况	269
3. 三国两晋南北朝各阶级状况	271
4. 隋唐五代各阶级状况	273
5. 宋辽金元各阶级状况	274
6. 明清各阶级状况	276
三、人口、户籍	278
四、华侨	280
五、妇女	280
六、风俗习惯	281
1. 一般论述	281
2. 古代礼制	281
3. 家族与婚姻	283
4. 节日风俗	285
5. 服饰、饮食	285
6. 丧葬	287
7. 其他习俗	288
(五) 经济	289
(1) 通论	289
(2) 土地制度	289
一、一般论述	289
二、先秦秦汉土地制度	291
三、三国两晋南北朝土地制度	291
四、隋唐五代土地制度	293
五、宋辽金元土地制度	294
六、明清土地制度	295
(3) 农业、水利	297
一、农业	297
二、付业、渔业	300
三、水利	301
(4) 手工业	304
(5) 商业	307
一、国内贸易	307

二、对外贸易	311
(6) 交通运输	313
(7) 财政	316
一、综述	316
二、赋税、徭役	318
1. 一般论述	318
2. 先秦至南北朝赋役	318
3. 隋唐五代赋役	319
4. 宋辽金元赋役	320
5. 明清赋役	321
三、商税、关税	323
四、盐政	324
五、酒法、茶法、马政	325
六、荒政及其他	326
(8) 货币、金融	328
(六) 文化教育	330
(1) 图书和图书馆	330
一、一般论述	330
二、版本、目录学	330
三、类书、丛书	332
(2) 教育	333
(3) 科举制度	336
(4) 娱乐、体育	337
(七) 语言文字	337
(1) 通论	337
(2) 语文典籍研究	337
(3) 文字学	342
(4) 音韵学	344
(5) 语法修辞	346
(6) 方言	347
(7) 少数民族语文	348
(8) 外国语	348
(八) 文学	349
(1) 通论	349
一、综述	349
二、先秦至南北朝文学	350
三、隋唐五代文学	354
四、宋辽金元文学	356

五. 明清文学	356
(2) 诗文集	357
(3) 散文	360
(4) 韵文	362
一. 综述	362
二. 诗论	364
三. 诗经	365
四. 楚辞	369
五. 赋	371
六. 乐府	373
七. 诗	376
1. 诗总集	376
2. 先秦、秦汉诗	377
3. 三国两晋南北朝诗	377
4. 隋唐五代诗	383
5. 宋辽金元诗	397
6. 明清诗	399
八. 词	399
(5) 戏曲文学	401
(6) 小说	404
一. 综述	404
二. 古小说	404
三. 传奇、笔记	407
四. 通俗小说	411
1. 宋元话本	411
2. 三国演义	411
3. 水浒传	412
4. 西游记	414
5. 金瓶梅	416
6. 红楼梦	416
7. 其他长篇小说	418
8. 短篇小说	419
(7) 民间文学	421
一. 神话、传说	421
二. 寓言、笑话、谚语	425
三. 变文、宝卷	425
四. 其他	426
(九) 艺术	427

(1) 通论	427
(2) 绘画	428
一. 综述	428
二. 画论	430
三. 画像石、帛画	430
四. 敦煌画、壁画	431
五. 各代绘画	432
(3) 书法	435
一. 综述	435
二. 书论	436
三. 各代书法	437
四. 篆刻	443
(4) 雕塑	443
(5) 音乐、舞蹈	445
(6) 戏剧	447
(7) 建筑	448
(8) 工艺	449
(十) 自然科学、技术	450
(1) 通论	450
(2) 数学	451
(3) 化学	452
(4) 天文历法	452
(5) 医药	454
(6) 度量衡及其他	456

专著部分

(一) 古代中国综论	458
(1) 通论	458
一. 古代史综述	458
二. 各代史	463
三. 史籍研究	465
四. 辞典、目录	468
(2) 考古与文物	469
一. 综述	469
二. 古遗址、古墓葬	469
三. 石窟寺	470
四. 古器物	470

五、古文字、古文书	471
(3) 民族史志	472
(4) 地方史志	473
一、综述	473
二、都市	474
三、华北、东北地区史志	474
四、西北地区史志	475
五、华东地区史志	476
六、中南、西南地区史志	476
七、地理古籍研究	476
(5) 传记	477
一、总传	477
二、个人传记	478
(二) 学术思想	481
(1) 通论	481
(2) 先秦思想	484
一、综述	484
二、儒家和“经学”	484
三、道家	487
四、墨家、法家及其他	488
(3) 秦汉至隋唐五代思想	489
(4) 宋元明清思想	489
(三) 宗教	492
(1) 通论	492
(2) 佛教	493
一、佛教史	493
二、佛教各教派	494
三、佛教典籍研究	495
四、佛教人物传记	496
(3) 道教	496
(4) 其他宗教	497
(5) 谶纬及迷信	498
(四) 政治、社会生活	498
(1) 政治制度	498
(2) 法律	499
(3) 军事	500
(4) 中外关系	500
一、综述	500

二、中国和亚洲国家的关系	503
三、中国和欧美国家的关系	505
(5) 社会生活	505
一、综述	505
二、阶级、阶层	505
三、人口、户籍	506
四、华侨、妇女	506
五、风俗习惯	506
(五) 经济	507
(1) 通论	507
(2) 土地制度	508
(3) 农业、水利	509
(4) 手工业、商业	510
(5) 交通运输	510
(6) 财政金融	511
(六) 文化教育	512
(1) 通论	512
(2) 图书和图书馆	512
一、汉籍版本和目录	512
二、类书、丛书	514
(3) 教育、科举	514
(4) 娱乐、体育	515
(七) 语言文字	515
(1) 通论	515
(2) 语文典籍研究	515
(3) 文字学	516
(4) 音韵学	517
(5) 语法修辞	517
(6) 少数民族语文	517
(八) 文学	518
(1) 通论	518
(2) 诗文集	519
(3) 韵文	520
一、综述	520
二、诗论	521
三、诗经、楚辞	521
四、赋	521
五、乐府	521

- 六. 诗
- 七. 词
- (4) 戏曲文学
- (5) 小说
- (6) 民间文学
- (九) 艺术
 - (1) 通论
 - (2) 绘画
 - (3) 书法
 - (4) 雕塑
 - (5) 音乐、舞蹈、戏剧
 - (6) 建筑、工艺
- (十) 自然科学、技术
 - (1) 通论
 - (2) 数学
 - (3) 天文历法

- 521 (4) 医药 531
- 524 (5) 度量衡及其他 531

附录

- 526 附录一: (1965-1980) 日文有关亚细亚生产方式的论著要目 532
- 527 附录二: (1965-1980) 日本影印中国古代史籍要目 534
- 528 附录三: 本目录所收论文集及北京图书馆收藏情况一览表 537
- 529 附录四: 本目录所收期刊北京图书馆收藏情况一览表 539
- 530 附录五: 本目录标题中出现的中国古代人物索引 545
- 531

論文部分

(一) 古代中国综论

(1) 通論

一、古代史綜述

中国史の研究(高村孝治)

山口大学教育学部研究論叢 13-1 p(1)-(17)
1963-3; 14-1 p1-20 1965-3; 15-1
p1-20 1966-3

アジア的停滞論の克服と社会史の一般法則、およびこれに関連して景德鎮陶瓷工業の発展を中心に中国における資本主義の発生を論ず(沢登佳人)

中京商学論叢 11-4 1965-3; 12-1 p23-44 1965-6

東洋的古代(宮崎市定)

東洋学報 48-2 p1-30 1965-9; 48-3
p63-91 1965-12

評: 米田賢次郎 法制史研究 17 p227
-229 1967-10

貝塚茂樹氏の中国史研究について(上原淳道)

歴史評論 179 p1-16 1965-7

貝塚茂樹氏の中国史理解(上原淳道)

思想 495 p96-105 1965-9

中国史の世界史的把握はどう進んだか——
古代社会の性格論争をめぐって(谷川道雄)

歴史評論 184 p30-36 1965-12; 186
p31-40 1966-2

中国古代専制主義の理解をめぐって(小倉芳彦)

社会経済史学 31-125 p192-203 1966-2

明治期の中国史教科書——特に支那開化
小史について(満井隆行)

茨城大学教育学部紀要 15 p79-120 1966-3

東アジア封建制成立史研究上の諸問題(高
田実)

史潮 97 p3-18 1966-11

中国における封建制理論覚悟書き(菊池
英夫)

歴史評論 197 p67-76 1967-1

米岡アイバーク教授の中国史観を論駁す
(蔵広恩)

中央学院大学論叢(一般教育関係輯)

2-1 p51-87 1967-11

中国史研究の新らしい課題——封建制

の再評価問題にふれて(谷川道雄)

日本史研究 94 p8-24 1967-11

封建社会の構造——中国封建社会の検討から
封建社会の一般理論へ(酒井角三郎)
思想 529 p37-54 1968-7

封建制の視角と明清社会(重田徳)
東洋史研究 27-4 p164-181 1969-3
評: 谷川道雄 東洋史研究 28-2.3 p109
— 119 1969-12

通史の成立まで(尾崎康)
斯道文庫論集 7 p291-322 1969-10

中国通史稿并序(後藤均平)
新漢史学 2 p30-59 1970-1

中国中世史研究における立場と方法(川勝
義雄、谷川道雄)
中国中世史研究——六朝隋唐の社会と
文化 p3-16 1970-3

中国古代中世史把握のための一視角(宇
都宮清吉)
中国中世史研究——六朝隋唐の社会と文
化 p17-39 1970-3

中国中世とは何か——ヨロ、ハ°中世あるは
中国近世との簡単な比較(河地重造)
中国中世史研究——六朝隋唐の社会と文
化 p474-499 1970-3

中国史における継承王朝(宮川尚志)
東海史学 6 p1-18 1970-6

中国封建制研究の方向と方法——六朝封建
制論の一検討(重田徳)
歴史評論 247 p45-57 1971-2

夷夏論争(吉川忠夫)

人文 17 p35-55 1971-2

中国古代史研究覚書(多田狷介)
史草 12 p1-45 1971-10

中国古代史と共同体——谷川道雄氏の所論
をめぐって(五井直弘)
歴史評論 255 p87-99 1971-10

中国古代中世史把握の視角と方法をめぐって
——中国中世史研究会編「中国中世史研究」
の総論を批判する(木全徳雄)
鈴木博士古稀記念東洋学論叢 p165
— 190 1972-10

王朝交替と中国の经济社会(林善義)
名古屋学院大学論集(社会科学篇) 8-4
p111-142 1971-12

中国の变革と封建制研究の課題(田中正俊)
歴史評論 271 p51-72 1972-12

中国社会の構造的特質と知識人の問題
(谷川道雄)
思想 582 p46-65 1972-12

中国の古代国家(貝塚茂樹)
図書 290 p2-18 1973-10; 291 p43-63 1973-11

唐人考(村松-弥)
人文学報(東京都立大学) 98 p13-31 1974-3

中国前近代史像形成のための方法論的覚
書(小林-美)
中国民众反乱の世界 p343-387 1974-8

中国における階級支配の成立とその性格に
ついて(豊島静英)

歴史学研究 413 p16-28 1974-10

「漢家」の意義と構造——中国古代における家父長制的秩序と国家秩序(尾形真)

山梨大学教育学部紀要5 p33-35 1974-11

中国における封建権力成立のとりえ方について——重田徳説の検討(伊原弘介)

歴史評論 304 p46-54 1975-8

中国官僚制社会のひとつの見方(谷川道雄)

アジア・クォーター 7-1 p115-123 1975-1

中国前近代社会における専制支配と農民運動(柳田節子)

歴史評論 300 p133-148 1975-4

「後漢代といふ魏晉期以降中国中世」説をめぐって(多田賢介)

歴史学研究 422 p17-25 1975-7

宋代以後の国家の農民支配(小山正明)

歴史学研究(別冊) p106-114 1975-11

中国史における伝統と変革(奥崎裕司)

史潮 新1 p140-150 1976-11

中国古代中世史と人間——宇都宮学の世界(谷川道雄)

名古屋大学東洋史研究報告 4 p1-20 1976-11

中国における古代(秦)と現代(磯部俊雄)

政経研究 13-3 p157-190 1977-2

漢六朝史の理解をめぐって(越智重明)

九州大学東洋史論集5 p1-57 1977-3

評: 山田勝芳 法制史研究 28 p262-263 1977-3

中国近世における小治至宮と国家権力について(佐竹靖彦)

新しい歴史学のために 150 p22-23 1978-2

中国封建社会論(若間一雄)

岡山大学法学会雑誌 28-3-4 p193-225 1979-3

君崩末逾年改元論(林宏作)

森三樹三郎博士頌寿記念東洋学論集 p919-932 1979-12

中国征服王朝——歴史と文化——その特性について(村上正二 等)

シルクロード 6-2-3 p6-51 1980-2

中国民衆史の論理と史料(今堀誠二)

学術月報 33-5 p359-362 1980-8

日本における中国古代史研究をめぐって(中国前近代史研究会)

史潮 100 p173-200 1967-10

戦後の中国古代史研究(伊藤正彦)

史潮 105 p41-50 1968-11

日本における東洋学研究著作目録表類輯(川越泰博)

史学 48-1 p87-110 1977-1

東洋学の研究文献目録について(山根幸夫)

史論 30 p65-74 1977-3

中国農民戦争の歴史(山本秀夫)

漢文教室 80 p1-8 1967-3

中国における農民戦争史論争をめぐって(松崎つね子)

中国農民戦争史研究 1 p3-28 1968-4 ;

2 p1-26 1968-11; 3 p1-34 1971-6;
4 p36-50 1974-12; 5 p27-40 1979-8

紅巾考—中国における民間武装集団の伝
統(相田洋)
東洋史研究 38-4 p53-80 1980-3

最近の中国における農民戦争史研究(松
崎つね子)
駿台史学 50 p214-230 1980-9

二. 各代史

1. 先秦

中国古代の伝説と歴史—主として禪譲と
放伐について(大島利一)
漢文教室 70 p24-31 1965-1

堯舜民主政?(島田彦次)
中国哲学史の展望と模索 p989-1005 1976-11

昏微と桀鳥—殷王室の始祖伝説(御手洗
勝)
広島大学文学部紀要 39 p1-21 1979-12

帝嚳考—殷王室の始祖名について(御手洗勝)
森三樹三郎博士頌寿記念東洋学論集
p1-18 1979-12

釈商(量博満)
上智史学 11 p61-74 1966-10

尚書より観たる殷周の社会(山下実)
鈴峯女子短期大学人文社会科学集報
16 p17-28 1969-12; 17 p43-56 1970-12

殷・周の命についての考察(豊田久)
史観 84 p38-51 1971-11

殷代の宗教と社会(伊藤道治)
史林 58-3 p106-120 1975-5

殷前期の提言(飯島武次)
古代文化 29-4 p1-19 1977-4; 29-7
p1-23 1977-7; 30-6 p1-27 1978-6;
30-7 p1-26 1978-7; 30-8 p3-14 1978
-8; 30-11 p1-16 1978-11; 31-1 p14-34
1979-1; 31-4 p1-17 1979-4; 31-8
p1-17 1979-8; 32-1 p1-18 1980-1;
32-3 p1-17 1980-3

殷代武丁期に於ける公的貞人同版例(石
田千秋)
日本大学史学科五十年記念歴史学論文
集 p522-536 1978-4

殷代貞人と周王朝(高橋庸一郎)
水門 11 p(62)-(73) 1978-8

殷王室の構造に関する一試論(持井康孝)
東京大学東洋文化研究所紀要 82 p45
-90 1980-3

殷代非奴隸社会の証(島邦男)
甲骨学 12 p15-19 1980-8

克殷年月考(島邦男)
東洋学 14 p27-43 1965-10

伐殷考(島邦男)
文経論叢 1 p149-174 1965-11

帝辛三十三年殷亡説(島邦男)
甲骨学 11 p15-19 1976-6

周の始祖神話の成り立ちと変質(谷口義介)
立命館文学 331-333 p1-27 1973-3

西周時代に於ける王権の消長(伊藤道治)
研究 35 p167-197 1965-3

西周諸侯系図試論——春秋・戦国諸侯系図より見た(宇都木章)
中国古代史研究 2 p111-152 1965-5

周の文王は果して実在したか(三原一雄)
東洋文化(無窮会) 15 p10-25 1967-1;
16 p12-23 1967-9

左伝に見える西周封建制度について(伊藤道治)
東洋史研究 26-3 p86-103 1967-12

周公即位志——初期尚書成王についての研究(松本雅明)
史学雑誌 77-6 p1-37 1968-6

西周時代に關する三つの問題(伊藤道治)
史泉 37 p15-23 1968-7

詩経に見える周初に於ける王の資格——氏族宗教人として(加藤常賢)
=松学舎大学東洋学研究所集刊 1 p1-18
1971-3

周公家と召公家——召誥篇の成立をめぐる諸問題(松本雅明)
東洋学報 54-2 p50-100 1971-9

周公と尚書の展開——周の東方性について(北村良和)
懷徳 45 p30-47 1975-10

西周史の諸問題(白川静)

立命館文学 377-378 p1-62 1976-12;
382-383 p140-208 1977-4

アジア的生産様式論によせて——周代中国社会性質規定に關するテーゼ=ワシリ-エフ・モデル(中島太一)
彦根論叢 185-186 p195-212 1977-10

最近発見の西周初期資料について(伊藤道治)
東洋史苑 12 p1-14 1978-6

周王朝の君主権の構造について——「天命の膺受」者を中心に(豊田久)
東洋文化(東京大学) 59 p177-252 1979-3

周の幽王について(小島政雄)
大東文化大学紀要 13 p177-191 1975-3

「周幽褒姒」の構成と視実性(黒須重彦)
大東文化大学漢学会誌 19 p59-67 1980-3

春秋伝にあらわれた五霸について(山田琢)
金沢大学教養学部論集(人文科学篇) 3
p279-292 1966-2; 4 p37-53 1967-2

五霸の成立について(相原俊二)
東洋大学文学部紀要(史学科篇) 1 p35
-62 1975-12

「社稷の臣」について(柳沢正弘)
史観 80 p38-50 1969-12

春秋時代の兄弟集団(越智重明)
史淵 112 p143-161 1975-3

春秋時代の「戦」とその残像(関川順)
日本中国学会報 27 p62-73 1975-10

中国古代の或る非武装和平運動——何氏の
弭兵戰略とその批判(河野牧)

軍事史学 13-4 p64-74 1978-3

論語に見える春秋関係資料を察する——管
仲論を中心にして(小野沢精一)

東京大学教養学部人文科学科紀要 71
p1-18 1980-3

論語に見える春秋関係資料を察する——
公冶長篇と憲問篇の大夫層を中心として(小
野沢精一)

中哲文学会報 5 p1-42 1980-6

齊の封建の事情および齊と萊との関係(上原
淳道)

中国古代史研究 2 p85-110 1965-5

封禪に関する考察——齊桓公の封禪を中心
として(平野良夫)

大東文化大学漢学会誌 10 p55-67 1971-7

齊の桓公の即位と莒国(宇都木章)

山本博士還暦記念東洋史論叢 p51-67
1972-10

齊の田氏について——春秋末期における邑制
国家体制崩壊の一側面(太田幸男)

歴史学研究 350 p27-39 1969-7

田齊の成立——齊の田氏について(2)(太田幸男)

中国古代史研究 4 p271-296 1976-3

田齊の崩壊——齊の田氏について(3)(太田幸男)

史海 21-22 p1-24 1975-6

陽虎と公山不狃——春秋末期の「叛」(倉芳彦)

東京大学東洋文化研究所紀要 49 p1-42

1969-3

春秋時代の宋の貴族(宇都木章)

古代学 16-1 p44-45 1969-8

鄭の子産と晋の叔向(安本博)

東方学 44 p22-36 1972-7

子産の施策と宗教意識(塩出雅)

待兼山論叢(哲学篇) 12 p33-48 1978-12

春秋時代の晋の大夫祁氏、羊舌氏の邑について——中
国古代集落史試論(五井直弘)

中国古代史研究 3 p183-210 1969-11

晋の文公即位をめぐって——とくに三軍成主と
の関連において(佐藤三夫)

白山史学 17 p87-104 1973-3

晋と戎・狄——献公の婿・閼閼氏を中心として
(田中袖美子)

国学院雑誌 76-3 p23-37 1975-3

晋をめぐり狄について(田中袖美子)

中国古代史研究 4 p247-270 1976-3

魯の三桓氏の成立について(宇都木章)

中国古代史研究 4 p217-246 1976-3

春秋三伝に見えた楚(下斗米晟)

東洋研究 15 p87-108 1967-3

楚文化の性格——とくに吐舌袁匠を中心とし
て(量學満)

上智史学 16 p27-64 1971-10

春秋時代における楚国の世族と王権(野間文史)

哲学(広島哲学会) 24 p19-30 1972-10